

岐阜大学

【著書・論文】

<和文総説>

1. 磯部真倫:教育エフォートを見える化する 日本産科婦人科学会の取り組み. 臨床外科 78(3):1130-1133,2023

<欧文原著>

1. Mori T, Kato H, Kawaguchi M, Kanayama T, Furui, Noda Y, Hyodo F, Matsuo M: MRI characteristics for predicting histological subtypes in patients with uterine cervical adenocarcinoma. *European Journal of Radiology* 158 doi:10.1016/j.ejrad.2022.110612
2. Koizumi, T. Sugishita, Y. Suzuki-Takahashi, Y. Nara, K. Miyagawa, T. Nakajima, M. Sugimoto, K. Futamura, M. Furui, T. Takai, Y. Matsumoto, H. Yamauchi, H. Ohno, S. Kataoka, A. Kawai, K. Fukuma, E. Nogi, H. Tsugawa, K. Suzuki, N: Oncofertility-related psycho-educational therapy for young adult patients with breast cancer and their partners: randomized controlled trial. *Cancer* 129(16) :2568-2580,2023 doi: 10.1002/cncr.34796
3. Koike, T. Yamamoto, S. Furui, T. Miyazaki, C. Ishikawa, H. Morishige, K-I: Evaluation of the Relationship Between Equol Production and the Risk of Locomotive Syndrome in Very Elderly Women. *Int J Probiotics and Prebiotics* 18(1):7-13,2023. doi:10.37290/ijpp2641-7197.18:7-13
4. Ono, M. Harada, M. Horie, A. Dai, Y. Horiguchi, I. Kikuchi, E. Kimura, F. Koizumi, T. Komeya, M. Mizunuma, N. Oseto, K. Ota, K. Shimizu, C. Sugimoto, K. Takae, S. Takeuchi, E. Nishi, H. Yumura, Y. Furui, T. Takai, Y. Morishige, K. I. Watanabe, C. Osuga, Y. Suzuki, N: Effect of a web-based fertility preservation training program for medical professionals in Japan. *Int J Clin Oncol* 28(9) doi: 10.1007/s10147-023-02366-2
5. Niwa K, Takenaka M, Hayasaki Y, Nagata K, Mori S, Kuwabara K, Niwa K and Tanaka T: A Rare Torsion Case of Polycystic Ovarian Syndrome: A Natural Course with Laparoscopic, Cytological and Pathological Findings. *Clinical Pathology & Research Journal* 7(1):157- 2023 doi:10.23880/cprj-16000157
6. Niwa K, Takenaka M, Isobe M, Hayasaki Y, Nagata K, Mori S, Kuwabara K, Niwa K and Tanaka T: HPV Genotype Distribution and Correlation with Age in Women Before and After Leep- Conization and Evaporation in a Single Hospital in Japan. *Clinical Pathology & Research Journal* 7(1):170- 2023 doi:10.23880/cprj-16000170
7. Maezawa T, Takae S, Takeuchi H, Takenaka M, Ota K, Horie A, Suzuki T, Takai Y, Kimura F, Furui T, Ikeda T, Suzuki N: A Nationwide Survey Aimed at Establishing an Appropriate Long-Term Storage and Management System for Fertility Preserving Specimens in Japan. *J Adolesc Young Adult Oncol* 12(3):450-457 2023 doi: 10.1089/jayao.2021.0209
8. Shimizu C, Furui T, Kataoka S, Kawai K, Kishida T, Kuwahara A, Maeda N, Makino A, Mizunuma N, Morishige K-I, Nakajima T, Ota K, Ono M, Shiga N, Tada Y, Takae S, Tamura N,

Watanabe C, Yumura Y, Suzuki N, Takai Y: Current Status and Issues of the Japan Oncofertility Registry. Journal of Adolescent and Young Adult Oncology 12(4):584-591 2023

doi: <https://doi.org/10.1089/jayao.2022.0110>

<和文原著>

1. 鈴木紀子、村瀬紗姫、仲間美奈、二村学、森重健一郎:がん遺伝子パネル検査についての受検患者の意識調査—患者背景の影響. 遺伝子医学 13(3):126-134,2023
2. 竹中基記、前沢忠志、齋藤愛、坊本佳優、三宅菜月、榎本紗也子、西岡美喜子、松本洋介、伊東雅美、宮崎有美子、松本雅子、大須賀智子、後藤真紀、安藤智子、古井辰郎:東海北陸地方における小児・思春期血液がん患者のがん・生殖相談外来受診状況に対する多機関共同・後ろ向き観察研究. 日本小児血液・がん学会雑誌 60(1):20-26,2023 doi: 10.11412/jspho.60.20
3. 合田知弘、菊野享子、村瀬紗姫、森美奈子、竹中基記、早崎容、古井辰郎、森重健一郎:子宮筋腫手術に対するレルゴリクスとリュープロレリンの治療効果に関する比較検討. 東海産科婦人科学会雑誌 59:101-107,2023
4. 手塚慶吾、坊本佳優、早崎容、森重健一郎、金山弘、宮崎 龍彦:G-CSF 産生性の anaplastic carcinoma を伴った卵巣粘液性腫瘍の 1 例. 東海産科婦人科学会雑誌 59:305-311,2023

【講演・学会発表】

《国内》

<特別講演>

1. 磯部真倫:手術室において外科医に求められるスキルとは. 関西臨床腫瘍研究会 (Kansai Clinical Oncology Group;KCOG) (大阪)2023.7.8
2. 磯部真倫:新型内視鏡システムを用いた婦人科内視鏡手術とその教育第 50 回神奈川県産婦人科内視鏡研究会(Web)2023.10.

<教育講演>

1. 磯部真倫:ポストコロナでも役に立つオンラインを利用した臨床教育とその倫理的問題. 第 63 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会(大津)2023.9.14-16

<基調講演>

1. 伊藤由夏:ランチトークセッション「Patient Journey (ペイシエント・ジャーニー)に寄り添うがん・生殖医療」—臨床心理士の視点から. 第 13 回日本がん・生殖医療学会(大宮)2023.2.25-26

<シンポジウム・ワークショップ>

1. 伊藤由夏:クライアントファーストの意思決定支援について考える—生殖医療施設において、がん・生殖医療相談に従事する心理士の立場から—. 第 13 回日本がん・生殖医療学会学術

集会(大宮)2022.2.25-26

- 磯部真倫:臨床研修を練る会議～評価票を練ってみる～(ファシリテーター). 第 55 回日本医学教育学会大会(長崎)2023.7.28-29
- 磯部真倫:日本医学教育学会大会プログラムの未来へ(指定発言). 第 55 回日本医学教育学会大会(長崎)2023.7.28-29
- 磯部真倫:医療安全教育を「再発見」する. 第 86 回医学教育セミナーとワークショップ in 富山大学(富士)2023.10.6-7
- 磯部真倫 Active education from Japan.The 22nd Congress of the Federation of Asia and Oceania Perinatal Societies (東京)2023.10.7-9
- 磯部真倫:Japanese Surgeons as Educators Oct.2023-AdvanceCourse-. 日本外科教育研究会(東京)2023.10.8-9
- 磯部真倫:新型コロナウイルスパンデミックは学生教育をどのように変えたのか? 第 61 回日本癌治療学会学術集会(横浜)2023.10.19-21
- 桑山太郎、竹中基記、志賀友美、菊野享子、磯部真倫:岐阜大学関連施設における腹腔鏡技術認定医取得を再考する. 第 23 回東海産婦人科内視鏡手術研究会(名古屋)2023.10.28
- 磯部真倫:NDB オープンデータから見た婦人科低侵襲手術の現況とその教育. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会(横浜)2023.12.7-9

<一般講演>

- 伊藤由夏、寺澤恵子、山本志緒理、森岡尚子、桑原美紀、古井辰郎:がん・生殖医療相談受診以降の継続支援の重要性について一妊孕性温存を希望したが、妊娠に至らなかった乳がん症例夫婦の選択に寄り添う一. 日本生殖心理学会(東京)2023.2.5
- 山本志緒理、寺澤恵子、小池大我、伊藤由夏、古井辰郎:乳がん患者に対し PPOS 法による卵巣刺激で採卵し妊孕性温存を行った 1 例. 第 13 回日本がん・生殖医療学会学術集会(大宮)2023.2.25-26
- 小池大我、山本志緒理、寺澤恵子、古井辰郎:縦隔混合性胚細胞腫瘍治療中の精子凍結保存を希望し当科を受診した Klinefelter 症候群の 1 例. 第 13 回日本がん・生殖医療学会学術集会(大宮)2023.2.25-26
- 大江直行、森美奈子、小木曾衛、飯田知宏、古井辰郎、岩間亨:卵巣過剰刺激症候群で発症した FSH 産生下垂体腫瘍の1例. 第 33 回日本間脳下垂体腫瘍学会(那覇)2023.3.3-4
- 竹内典子、志賀友美、古井辰郎:バルーン逸脱により出血量増加をきたした総腸骨動脈バルーン閉塞術(CIABO)併用 Cesarean hysterectomy の症例報告. 第 143 回東海産婦人科学会(名古屋)2023.3.11-12
- 東松明恵、村瀬紗姫、齋竹健彰、坊本佳優、菊野享子、竹中基記、早崎容、古井辰郎:当科においてがん遺伝子パネル検査の結果から治療に結びついた 4 症例. 第 143 回東海産婦人科学会(名古屋)2023.3.11-12
- 竹中基記、早崎容、村瀬紗姫、坊本佳優、齋竹健彰、菊野享子、古井辰郎:腹腔鏡下広汎子宮全摘術における当院での術式操作の改善—JGOG1087 試験への参加を契機に—. 第 4 回

次世代婦人科 MIS 研究会(浜松)2023.3.18

8. 齋竹健彰、竹中基記、坊本佳優、村瀬紗姫、菊野享子、早崎容、古井辰郎:当院における早期子宮体癌根治術に対する術式に関する検討. 第 75 回日本産科婦人科学会学術講演会(東京・ハイブリッド)2023.5.12-14
9. 鈴木紀子、村瀬紗姫、森重健一郎、古井辰郎:がん遺伝子パネル検査受検患者のアンケートによる意識調査. 第 75 回日本産科婦人科学会学術講演会(東京・ハイブリッド)2023.5.12-14
10. 篠田幸恵、小池大我、山本志緒理、寺澤恵子、竹中基記、古井辰郎:医原性に早発卵巣不全となった AYA 世代のがんサバイバーに対し経皮エストラジオールとバゼドキシフェン酢酸塩併用療法を施行した 1 例. 第 75 回日本産科婦人科学会学術講演会(東京・ハイブリッド)2023.5.12-14
11. 釣餌咲希、早崎容、竹中基記、菊野享子、村瀬紗姫、坊本佳優、齋竹健彰、古井辰郎:当科において再発子宮体癌に対しペムブロリズマブ+レンバチニブ併用療法を施行した 9 症例の後方視的検討. 第 75 回日本産科婦人科学会学術講演会(東京・ハイブリッド)2023.5.12-14
12. 伊藤由夏、寺澤恵子、山本志緒理、小池大我、棚橋昌代、桑原美紀、森岡尚子、古井辰郎:当院での「がん・生殖医療相談パンフレット女性版」の作成と活用状況について. 第 5 回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会(東京)2023.5.13-14
13. 竹中基記、高瀬比菜子、鈴木紀子、齋郷智恵美、竹内保、古井辰郎:思春期前後でのシクロホスファミドによる卵巣毒性に関する検討. 第 44 回中部生殖医学会学術集会(名古屋)2023.6.17
14. 上田陽子、鈴木紀子、竹中基記、辻美恵子、平山祐、永澤秀子:腫瘍細胞の鉄代謝を利用した Artesunate 誘導性フェロトーシスの増感. 第 27 回日本がん分子標的治療学会学術集会(佐賀)2023.6.21-23
15. 松井裕美、浅井貴美子、小池大我、村瀬紗姫、志賀友美、古井辰郎、堀川幸男、小川武則:多職種で臨んだアンドロゲン不応症に対する遺伝カウンセリング. 第 47 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会(松本)2023.7.7-9
16. 坊本佳優、齋竹健彰、村瀬紗姫、菊野享子、竹中基記、早崎容、古井辰郎、森重健一郎:口蓋扁桃転移をきたした子宮頸部小細胞神経内分泌癌の一例. 第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会(松江)2023.7.14-16
17. 竹中基記、早崎容、村瀬紗姫、坊本佳優、齋竹健彰、菊野享子、古井辰郎:根治性をもった腹腔鏡下広汎子宮全摘術に向けた術式操作の改善—JGOG1087 試験への参加を契機に—. 第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会(松江)2023.7.14-16
18. 釣餌咲希、志賀友美、上村小雪、増田美和、坊本佳優、村瀬紗姫、菊野享子、竹中基記、早崎容、古井辰郎:スプレー式癒着防止剤使用後のセカンドルックによる癒着防止効果に関する検討. 第 63 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会(大津)2023.9.14-16
19. 伊藤由夏:がん・生殖医療の心理支援—施設ごとの特性を踏まえた関わりをめざして—. 日本心理臨床学会第 42 回大会(横浜)2023.9.30
20. 磯部真倫:【会長企画】社会医学的視点から手術学会を盛り上げる. 第 46 回日本産婦人科手術学会(東京)2023.9.30-10.1

21. 釣餌咲希:再発卵巣未熟奇形腫の患者の意思決定と挙児への思い. 第4回東海北陸若手が
ん・生殖セミナー(名古屋)2023.10.15
22. 上田陽子、鈴木紀子、辻美恵子、平山祐、森重健一郎、永澤秀子、磯部真倫:種々の子宮頸
癌細胞におけるALAによるArtesunate誘導性フェロトーシスの増感に関する研究. 第8回中
日本産婦人科セミナー(長崎)2023.10.28-29
23. 上村小雪、桑山太郎、坊本佳優、菊野享子、竹中基記、志賀友美、早崎容、古井辰郎、磯部
真倫:子宮頸部筋腫に対して腹腔鏡下子宮全摘術を行う際の工夫. 第8回中日本産婦人科
セミナー(長崎)2023.10.28-29
24. 磯部真倫:安全な腹腔鏡手術に求められるスキルとは～テクニカルスキルとノンテクニカルスキ
ル～(ランチョンセミナー)第68回日本生殖医学会学術講演会・総会(金沢)2023.11.9-10
25. 山本志緒理、寺澤恵子、増田美和、竹中基記、古井辰郎:当院における子宮内膜症患者の生
殖補助医療の現状. 第68回日本生殖医学会学術講演会・総会(金沢)2023.11.9-10
26. 増田美和、山本志緒理、竹中基記、寺澤恵子、古井辰郎:当院のがん・生殖医療相談外来の
傾向と現状. 第68回日本生殖医学会学術講演会・総会(金沢)2023.11.9-10
27. 京極累:分娩後直腸隆瘻の2例. 第38回日本女性医学学会学術集会(徳島)2023.12.2-3
28. 磯部真倫:日本骨盤臓器脱手術学会第5回LSCビデオセミナー(新潟)2023.11.17-18

<報道>

1. 磯部真倫:これって、病気かな 総合診療医のみかた 更年期障害. 新潟日報 2023.10.16
2. 磯部真倫:子宮頸がんを考える. 産経新聞 2023.12.25

<その他>

1. 古井辰郎:がん・生殖医療について～医療の現場から～. ぎふがん・生殖医療ネットワーク研
修会(web)2023.2.16
2. 古井辰郎:今後のGPOFsについて. ぎふがん・生殖医療ネットワーク岐阜大学医学部記念会
館(ハイブリッド)2022.2.16
3. 伊藤由夏:がん・生殖医療について～患者相談の現場から～. ぎふがん・生殖医療ネットワ
ーク研修会(web)2023.2.16
4. 古井辰郎:Lectureーがんと妊孕性温存ー「がん・生殖医療:研究促進事業における、医療連
携と症例登録、公的助成制度」. がんと妊孕性温存について考える会(web)2023.03.23
5. 古井辰郎:Discussionーがんと妊孕性温存のこれからを考えるー. がんと妊孕性温存について
考える会(web)2023.03.23
6. 竹中基記:産婦人科手術における癒着防止剤の使用に関する検討. 岐阜産科婦人科研究会
(岐阜)2023.4.22
7. 古井辰郎:妊孕性温存についてー生殖医療医の立場からー. がん患者さんの妊孕性温存を
真剣に考えるウェブセミナー(Web)2023.5.29
8. 早崎容:子宮体癌治療におけるペムブロリズマブ+レンバチニブ併用療法～実臨床での経験
とマネジメントの工夫と取り組み～Endometrical Cancer Seminarin 岐阜(岐阜)2023.5.29

9. 増田美和:女性の腹痛～緊急対応を要する疾患を見逃さない～研修医セミナー(岐阜大学) 2023.6.28
10. 志賀友美:周産期領域における貧血の病態と治療. 大垣薬剤師会オンライン研修会(web) 2023.7.20
11. 磯部真倫:私の歩んできた道のり. 婦人科診療 Total Care セミナー(web) 2023.8.4
12. 古井辰郎:がん治療を開始するにあたって「小児 AYA 世代がん患者の妊孕性に関する支援における意思決定支援体制の必要性について」. 令和 5 年度がん患者等の妊孕性温存療法に関する研修会(Web) 2023.8.31
13. 磯部真倫:これから求められる学習者、教育者像とは?～岐阜大学での経験をもとに～. 中日本 Obstetrics and Gynecology WEB Seminar(web) 2023.9.6
14. 志賀友美:産婦人科医を目指して. 性に関する講和(岐阜) 2023.9.13
15. 磯部真倫:婦人科低侵襲手術の最前線とその教育. 第 8 回羽島先端医学を学ぶ会(ハイブリッド) 2023.9.21
16. 磯部真倫:診療参加型臨床実習～人はどのようにして職業人となるのか～. 2023 年度メディカルジャーナリズム勉強会オンラインサロン(web) 2023.10.4
17. 磯部真倫:これまで当院で行ってきた婦人科低侵襲手術. 婦人科疾患 Total Care Seminar (web) 2023.10.10
18. 菊野享子:岐阜市保健薬局研修会(岐阜) 2023.10.22
19. 古井辰郎:「がん薬物療養中の妊孕性の保存について」. 妊孕性を考える Web Seminar(富山) 2023.10.26
20. 磯部真倫:キャリアとは偶然?それとも必然? Heisei Gynecologic Oncologist Meeting-HEGO の会-(東京) 2023.10.27
21. 大城華佳:妊娠中に難治性ネフローゼを発症した 1 例. 第 67 回岐阜県周産期懇話会(岐阜) 2023.10.28
22. 磯部真倫:HPV ワクチンに関する最近の話題. 郡上市医師会臨床懇話会(web) 2023.11.7
23. 磯部真倫:日医生涯教育講座(後期)(岐阜) 2023.12.23

【研究費】

年度	種別	研究課題名	氏名
R5～R7 (新規)	厚生労働省科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)	小児・AYA 世代がん患者に対するがん・生殖医療における心理社会的支援体制の構築と安全な長期検体保管体制の構築を目指した研究—サイバーシップ向上を志向して	古井辰郎 (研究分担者)
R5～R7 (新規)	日本医療研究開発機構(AMED):臨床研究・治験推進研究事業	子宮内膜異型増殖症・子宮体癌妊孕性温存療法に対するメトホルミンの適応拡大にむけた多施設共同医師主導治験	古井辰郎 (研究開発分担者)

R3～R5 (継続)	厚生労働省科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)	小児・AYA 世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究—安全性(がん側のアウトカム)と有効性(生殖側のアウトカム)の確立を目指して	古井辰郎 (研究分担者)
R3～R5 (継続)	厚生労働省科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)	小児・AYA 世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究—安全性(がん側のアウトカム)と有効性(生殖側のアウトカム)の確立を目指して	竹中基記 (研究分担者)
R3～R5 (継続)	共同臨床研究	子宮内膜症が原因である月経困難症患者の低用量 Dienogest の長期投与による有効性及び安全性を検討する無作為化非盲検並行群間比較試験	菊野享子 (研究代表医師)